

科目名	特殊講義（ASEANの政治と経済A）	科目コード	1567	単位数	2
担当者名	坂口 可奈	開講semester	第3semester	開講年次	2年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

「アジア」とは北東アジアだけを示すのではない。国際社会においてASEAN（東南アジア諸国連合）諸国のプレゼンスは高まってきている。本講義では、「東南アジアを学ぶ、東南アジアから学ぶ、東南アジアを通して学ぶ」姿勢を身につけるため、地域としての東南アジアを学んだあと、ASEAN諸国の政治と社会についての基礎を学ぶ。ただし、シンガポールについては別講義「シンガポールの政治経済」で扱うため、この講義では触れるだけにとどめる。

● 到達目標

- 1、幅広い視野と様々な視点から国際社会を分析できるようになる
- 2、世界とのつながりという観点からASEAN諸国の政治と社会を分析できるようになる

● 授業内容

- 1週目 イントロダクション
- 2週目 料理から見る東南アジア
- 3週目 東南アジアの文化（中国とインドの影響）
- 4週目 植民地化される東南アジア
- 5週目 第二次世界大戦
- 6週目 ASEANの成立と発展
- 7週目 東南アジアと日本
- 8週目 ベトナム（フランス植民地時代からインドシナ戦争）
- 9週目 ベトナム（ベトナム戦争の衝撃）
- 10週目 ベトナム（ドイモイ後のベトナム政治と経済）
- 11週目 カンボジア（フランス植民地～カンボジア内戦）
- 12週目 カンボジア（カンボジア内戦）
- 13週目 カンボジア（内戦後の政治と経済）
- 14週目 現代東南アジア情勢
- 15週目 東南アジアとアメリカ+試験
- 16週目 今後の学習について（ただしやむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講を行う）

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 予習：1、毎日東南アジアに関するニュースにふれること  
 2、事前に指定する課題に取り組むこと(1と2を合わせて2時間程度)  
 復習：各自授業内容をノートにまとめること(1時間程度)

● 成績評価の方法・基準

- 期末試験70%  
 リアクションペーパー30%

● 履修上の留意点

- 1、許可した場合を除いて、授業中にスマートフォン等は使用しないこと
- 2、出席登録後は授業終了まで退席は認めない
- 3、適宜グループ・ディスカッションやグループ・ワークを行う。皆さんの積極的な発言を期待する

● 課題に対するフィードバックの方法

毎週の授業冒頭に、前週に課した課題に対してのフィードバックを口頭で行う  
 レポートに対してのフィードバックは最終授業の際に行う

● テキスト

特になし。レジュメを配布する。

● 参考書

清水一史、田村慶子、横山豪志（編）『東南アジア現代政治入門[改訂版]』（ミネルヴァ書房）3000円  
 中野亜里、遠藤聡、小高泰、玉置充子、増原綾子『入門 東南アジア現代政治』2500円

● 更新日付

2022/01/28 11:48